

## 令和3年度香川大学卒業式 学長告辞

本日ここに学士の学位を取得し、卒業式を迎えられた6学部、1,203名の卒業生の皆さんに、香川大学の教職員を代表して心からお祝いを申し上げます。また、ご家族や関係者の皆様方にも心からの祝意とともに、学生達の勉学を今日までご支援いただいたことに感謝の意を表します。香川大学校友会や各学部同窓会の関係者の皆様には、様々な形で彼らの学生生活を支えていただいたこと、あらためて感謝申し上げます。本来であれば卒業生のご家族や支援者の方々、同窓会の役員様にもご臨席賜り、我々とともに卒業生を送り出させて頂きたかったところですが、今般の新型コロナウイルス感染の厳しい状況を鑑みてお招きできませんでしたことお詫び申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、皆さんへの卒業のお祝いを述べる前にどうしても皆さんと一緒にさせていただきたいことがあります。それは、今、日本から遠く離れた東欧ウクライナで起こっている大変悲しい出来事のことです。犠牲になった人々、今も戦火の下で不安な日々を過ごしている人々を思うと胸がつぶれる思いです。まさかと思っていた第3次世界大戦が身近に迫っている恐怖にもさいなまれます。コロナ禍で感染対策に特段の注意を払って挙行しています本日の卒業式ですが、皆さん静かに起立していただき、一日も早い平和が訪れますように一緒に黙とうしたいと思います。

本日卒業式を迎えた皆さん、香川大学の門を初めてくぐった入学式のこと覚えていますか。会場に参加している皆さんの多くが2018年4月入学だと思

いますが、実は私が学長になって初めての入学式でもありました。この年は創造工学部が発足したり、経済学部の大規模な改組があったり、医学部に臨床心理学が新設されるという香川大学にとって大きな節目の年でもありました。初めて入学式を在校生がプロデュースして、先輩たちによる学歌の練習や、隣に座った他学部の新入生とお互いの自己紹介をしました。学長からの挨拶の中で私は皆さんに、大学では専門領域の知識やスキルを学ぶとともに、様々な人と出会って交遊の輪を拡げ、形のない資産すなわち無形資産を大いに蓄えてほしいとお伝えしました。卒業生の皆さん、無形資産は十分蓄えることができましたか。本日の卒業式を迎えた皆さんが、香川大学での学生生活で得た様々な無形資産を大いに生かしてさらなる飛躍を遂げてくれることを学長として心から願っています。

皆さんはここ2年間あまり、新型コロナウイルスの感染拡大のために多大な影響を受け、様々な局面で制約の多い、つらい時期を体験しました。一方で、本学が1949年に開学以来、類を見ない種類の経験や気づきを得た卒業生ともいえるのではないのでしょうか。まず一つは、近年目覚ましく発達した情報通信技術の価値を体感したことです。いきなり遠隔授業が始まり戸惑ったことと思いますが、皆さんが迅速に対応できたのはさすがでした。日々の生活はもとより、学びやサークル活動を継続させるためにもICTを存分に利用したことと思います。逆に、友人や先生と目と目を見ながらコミュニケーションをとることの大切さも再認識したことかと思っています。もう一つは、今回のCOVID-19の

経験を通して、地球上の人類は皆さんの想像以上に近い距離で関係しあっていることに気づいたのではないのでしょうか。日本は島国なので遠いアフリカや地球の裏側の南米での出来事は関係がないと感じていた方も多かったと思いますが、このウイルスの前には国境は全くありませんでした。

新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄された学生生活ではありましたが、この間に嬉しいニュースもありました。皆さんの在学中に3名の日本人研究者がノーベル賞を受賞されました。生理学・医学賞の本庶 佑先生、化学賞の吉野 彰先生、そして、真鍋淑郎先生の物理学賞の受賞です。本庶先生は癌の免疫治療薬の開発、吉野先生はリチウムイオン二次電池の開発をされました。そして、真鍋先生は温室効果のメカニズムを詳細に研究され、独自に開発された気候モデルによって極めて正確に地球表面の温度上昇を予測されました。真鍋先生によるこの地球の温度上昇モデルは何と50年前に発表されたものです。50年前の1970年代前半の日本人は、地球の温暖化が加速度的に進行し、激しい気候変動の時代がやってくるとは想像もしていませんでした。しかし今や、二酸化炭素濃度の増加が地球温暖化の主原因であることは疑いのない事実です。地球温暖化のペースを鈍化させるため、2050年カーボンニュートラルは地球人全体のミッションとなっています。地球環境の悪化を阻止し、さらに人々が平等に平和な生活を営むことのできる世界を実現するため、持続可能な開発目標、すなわちSDGsの達成が、地球上で暮らす我々にとっての共通の目標となっています。本日卒業式を迎えられた皆さんは、まさにSDGs達成の主演として活

躍してもらわねばならない世代です。職種や専門領域に関係なく、地球人であることを強く認識してこれからの人生を歩んで行ってほしいと願っています。

さて、医学の進歩や栄養の改善などで人生百年時代が到来しています。生まれて学校に通い就職して、「はいご苦労様」という単純な3段階の人生設計はすでに過去のものとなりつつあります。本日の卒業式は皆さんの人生にとっては第一回目の大学卒業ととらえてください。香川大学は大学院を中心に、皆さんが社会人になっても再び学びを深める様々な機会を提供しています。「学び」、「働き」、「遊び」、「楽しむ」、そして再び、「学び」、「働き」、「遊び」、「楽しむ」を続け、健康な体で出来るだけ長く皆さんが社会に貢献してくれることを期待しています。サミュエル・ウルマンの有名な言葉があります。年を重ねただけでは人は老いない。人は理想を失うとき初めて老いる。青春のただなかにいる卒業生の皆さん、それぞれの目指す理想を見失うことなく学び続け、自らを磨き続けて人生を歩んで行ってください。皆さんのこれからの人生が瑞々しく光り輝くものであることを祈っています。

本日はおめでとうございます。

令和4年3月24日

香川大学長 笥 善行